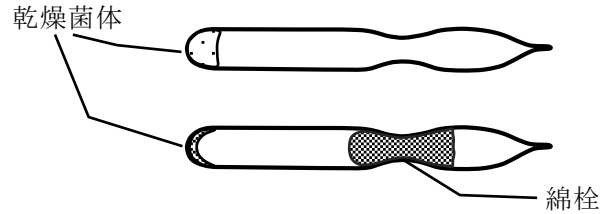


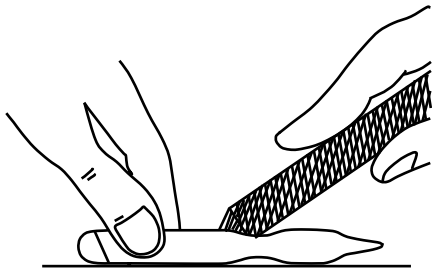
凍結乾燥およびL乾燥アンプルの開封法

微生物株は原則として凍結乾燥またはL乾燥アンプルで提供します。アンプルは以下の手順で開封して微生物株を復元してください。なお、製造時期等によりお送りするアンプルの形状が異なる場合があります。開封法についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



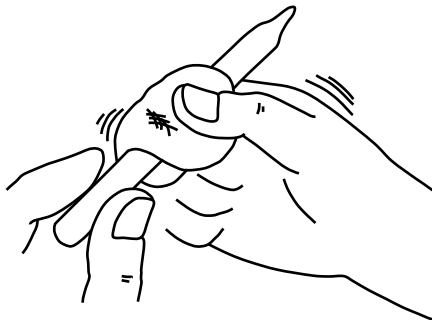
主な凍結乾燥 / L乾燥アンプルの形状の例

1



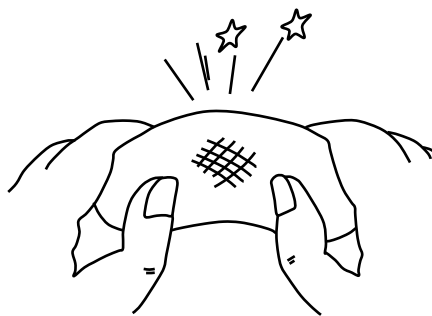
アンプルを平らな所に置き、くびれの部分（綿栓が入っている場合は綿栓の部分）にヤスリ等でキズをつけてください。この作業を手の中で行うとアンプルを破損することがあるので危険です。

2



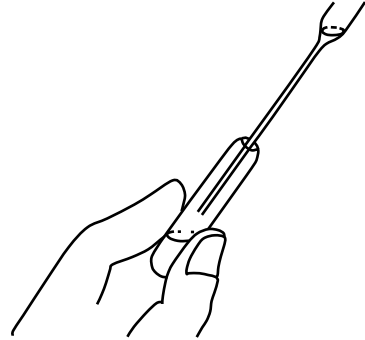
アンプルの外表面を70%アルコール綿でよく拭きます。

3



アンプルを乾熱滅菌ガーゼで包み、キズをつけた部分を外側に向けて折って下さい。アンプル内部は真空になっています。湿ったガーゼやアルコール綿を使うと、内部に液体が侵入して汚染や死滅の原因となりますので、これらの使用は避けてください。綿栓が入っているアンプルの場合は火炎滅菌したピンセットで綿栓を取り除きます。

4

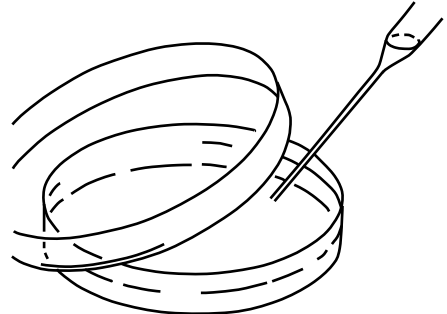


所定の復元液* 0.3～0.5 ml を滅菌パスツールピペットでアンプル内にゆっくり加え、標品を懸濁します。

*以下のオンラインカタログ参照。

<<https://jcm.brc.riken.jp/ja/catalogue>>

5



菌体懸濁液を本カタログに記載されている所定の培地に接種し、指定された条件で培養してください。この際、できるだけ平板培養を行い、汚染がないことを確認してください。また、一般に液体培養の方が復元率が高いので、同時に液体培養での復元も行うことをお勧めします。

以下のURLにてアンプル開封法のビデオプロトコルを公開しています。

<https://jcm.brc.riken.jp/ja/ordering/revive>

お問い合わせ

E-mail : inquiry.jcm@riken.jp